



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6457 URL <http://www.glory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 広和
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	104,387	2.0	6,179	△26.1	4,757	22.7	2,041	△4.5
29年3月期第2四半期	102,343	△1.7	8,356	24.3	3,878	△42.0	2,136	△29.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,491百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △11,919百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	31.92	—
29年3月期第2四半期	32.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	308,979	194,139	61.7	2,982.42
29年3月期	312,821	191,443	60.1	2,939.78

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 190,733百万円 29年3月期 187,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
30年3月期	—	31.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	51.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 31円00銭 創業100周年記念配当 20円00銭

配当予想の修正については、本日(平成29年11月7日)公表いたしました「平成30年3月期(第72期) 期末配当予想の修正(創業100周年記念配当の実施)及び自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	5.6	21,000	3.1	21,000	22.1	13,000	25.2	203.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	68,638,210株	29年3月期	68,638,210株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	4,496,195株	29年3月期	4,496,099株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	63,946,218株	29年3月期2Q	65,491,237株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（平成30年3月期第2四半期 189,309株、平成29年3月期 208,950株）。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費に持直しの動きがみられ、企業の設備投資や雇用情勢も改善するなど、緩やかな回復基調となりました。また、世界経済につきましても、米国、欧州で回復傾向が続き、アジアでも中国において改善の動きがみられるなど、緩やかな回復基調となりました。

こうした状況のなか、当社グループは、平成27年4月からの3ヶ年を計画期間とした『2017中期経営計画』の最終年度として、“長期ビジョン達成に向けた「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上”を基本方針に、「事業戦略」、「機能戦略」、「企業戦略」の各戦略を積極的に展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、104,387百万円（前年同期比 2.0%増）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、71,136百万円（前年同期比 0.0%増）、保守売上高は、33,250百万円（前年同期比 6.5%増）でありました。利益につきましては、営業利益は、6,179百万円（前年同期比 26.1%減）、経常利益は、為替差損が前年同期に比べ減少したため、4,757百万円（前年同期比 22.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,041百万円（前年同期比 4.5%減）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

(金融市場)

窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は更新需要を捉え好調であったものの、主要製品である「オープン出納システム」の販売は中小規模店舗向けのコンパクトタイプが大口需要の反動により低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、24,814百万円（前年同期比 9.3%減）、営業利益は、プロダクトミックスの悪化等により、1,595百万円（前年同期比 59.0%減）となりました。

(流通・交通市場)

「多能式紙幣両替機」の販売は好調であったものの、主要製品である「レジつり銭機」や警備輸送市場向け「売上金入金機」の販売は低調であり、市場全体としては前年同期並みに推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、20,630百万円（前年同期比 1.1%減）、営業利益は、1,547百万円（前年同期比 26.7%減）となりました。

(遊技市場)

主要製品である「カードシステム」等の販売は好調であり、当セグメントの売上高は、11,312百万円（前年同期比 31.2%増）、営業利益は、823百万円（前年同期比 444.9%増）となりました。

(海外市場)

米国では、金融市場向け「紙幣入出金機」の販売が順調であり、欧州では、金融市場向け「紙幣入出金機」の販売は低調であったものの、流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」の販売は好調でありました。一方、アジアでは、金融市場向け「紙幣入出金機」の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、46,441百万円（前年同期比 4.4%増）、営業利益は、2,548百万円（前年同期比 4.9%増）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、1,189百万円（前年同期比 15.8%増）、営業損益は、335百万円の損失（前年同期は営業損失 227百万円）となりました。

上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,292	64,561
受取手形及び売掛金	47,137	45,954
有価証券	3,000	3,000
商品及び製品	26,098	32,536
仕掛品	8,491	8,561
原材料及び貯蔵品	11,536	12,053
その他	10,543	11,718
貸倒引当金	△502	△725
流動資産合計	180,597	177,659
固定資産		
有形固定資産	35,657	35,643
無形固定資産		
顧客関係資産	22,221	21,594
のれん	51,573	49,808
その他	5,648	5,779
無形固定資産合計	79,443	77,182
投資その他の資産		
投資有価証券	10,010	10,473
その他	7,305	8,224
貸倒引当金	△194	△205
投資その他の資産合計	17,121	18,492
固定資産合計	132,223	131,319
資産合計	312,821	308,979
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,484	19,447
短期借入金	25,602	22,694
1年内返済予定の長期借入金	8,843	9,191
未払法人税等	2,903	1,819
賞与引当金	8,191	6,916
役員賞与引当金	94	47
株式付与引当金	61	44
その他	28,261	29,499
流動負債合計	92,443	89,660
固定負債		
長期借入金	13,271	9,196
株式付与引当金	116	165
退職給付に係る負債	4,419	4,323
その他	11,126	11,494
固定負債合計	28,933	25,179
負債合計	121,377	114,840

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	20,974	20,991
利益剰余金	158,504	159,517
自己株式	△12,090	△12,022
株主資本合計	180,281	181,378
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	822	1,046
為替換算調整勘定	8,181	9,570
退職給付に係る調整累計額	△1,336	△1,261
その他の包括利益累計額合計	7,667	9,355
非支配株主持分	3,494	3,405
純資産合計	191,443	194,139
負債純資産合計	312,821	308,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	102,343	104,387
売上原価	62,033	65,026
売上総利益	40,309	39,360
販売費及び一般管理費	31,952	33,181
営業利益	8,356	6,179
営業外収益		
受取利息	85	77
受取配当金	294	77
その他	193	215
営業外収益合計	572	369
営業外費用		
支払利息	290	257
為替差損	4,623	1,451
その他	136	82
営業外費用合計	5,050	1,791
経常利益	3,878	4,757
特別利益		
固定資産売却益	7	13
投資有価証券売却益	4	8
特別利益合計	11	21
特別損失		
固定資産除却損	30	28
投資有価証券評価損	38	—
その他	—	0
特別損失合計	69	28
税金等調整前四半期純利益	3,820	4,750
法人税等	1,169	2,098
四半期純利益	2,651	2,651
非支配株主に帰属する四半期純利益	515	610
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,136	2,041

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	2,651	2,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	223
為替換算調整勘定	△14,902	1,524
退職給付に係る調整額	314	91
その他の包括利益合計	△14,571	1,839
四半期包括利益	△11,919	4,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,004	3,770
非支配株主に係る四半期包括利益	84	721

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	27,363	20,862	8,623	44,467	101,316	1,027	102,343	—	102,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	27,363	20,862	8,623	44,467	101,316	1,027	102,343	—	102,343
セグメント損益	3,893	2,109	151	2,429	8,584	△227	8,356	—	8,356

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	24,814	20,630	11,312	46,441	103,197	1,189	104,387	—	104,387
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	24,814	20,630	11,312	46,441	103,197	1,189	104,387	—	104,387
セグメント損益	1,595	1,547	823	2,548	6,514	△335	6,179	—	6,179

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。